


事業概要【「スポーツ・文化・健康・防災」拠点となる新焼津体育館整備事業】

申請者	静岡県焼津市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,000,000千円 (30,700千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ハード（新焼津体育館の整備等による元焼津公園周辺の拠点整備をはじめとした、中心市街地における地域資源を活用した7つの拠点整備や、モビリティの活用による回遊性向上等）と、ソフト（ファンクラブの構築等による関係人口の拡大や、二地域居住の推進等）の両面からの取組によって、焼津を大きく変化させ、人口減少社会の中にあっても、関係人口の量的拡大・質的向上と社会増の好循環を実現し、持続可能な地域社会を実現する。 体育館の整備にあたっては、既存の体育館にはない新たな設備を整備するとともに、各種ソフト事業を組み合わせることで、単なる市民の体育館利用にとどまらない、多面的な機能を持つ「スポーツ・文化・健康・防災拠点」へと作り替えることで、地方創生2.0基本構想の政策の5本柱の1つ「安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生」を実現する。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	【新焼津体育館整備事業】 <ul style="list-style-type: none"> まちづくり拠点の一つ、元焼津公園周辺を、地域資源を活用した文化・スポーツ・交流の拠点として再整備する上での不可欠な事業として、新焼津体育館の整備を行う。 新焼津体育館の整備に伴い様々な機能を付加することで、賑わいの創出や、関係人口の量的拡大・質的向上、移住者の増加、安心して働き、暮らせる生活環境の創生等、様々な角度から地方創生に貢献する。 (様々な機能) <ol style="list-style-type: none"> ①市民や市外からの人の交流拠点としての機能 ②新たなチャレンジや自己実現の場としての機能 ③市内の健康拠点としての機能 ④災害時における生活環境の整った避難拠点としての機能 (主な経費) R7事業費30,700千円：部材製造等 <small>※ R 8以降に国交省事業により防災井戸も整備予定</small> 					「焼津にぎわい・まちづくり構想」 7つの拠点整備と回遊性の向上による、行ってみたい、住んでみたい、住み続けたいと思われる、ワクワクするまちづくり 	
地域の多様な主体の参画	産（焼津商工会議所、大井川商工会、各プロスポーツ団体、焼津市スポーツ協会など）、官（しずおか中部4市2町）、学（静岡福祉大学、静岡大学、静岡県立大学）、金（しずおか焼津信用金庫、静岡銀行、清水銀行、島田掛川信用金庫）、労（焼津公共職業安定所）、言（静岡新聞社）、自治会等、地域の多様な主体と連携し、それぞれがもつ人材、資金、ノウハウ等を活かした施設運営やイベント企画、事業中・事業後の評価等を行う。					KPI (★は必須KPI) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ★①地域の人口・世帯数(社会増) (+1,350人) ②関係人口 (+517,415人) ③市内総生産金額 (+150億円) ④心身ともに健康だと思える市民の割合 (+4%) ⑤地域幸福度指標 (Well-Being指標) における、防災対策への評価 (+0.8ポイント)